

移植外科

1. 概要

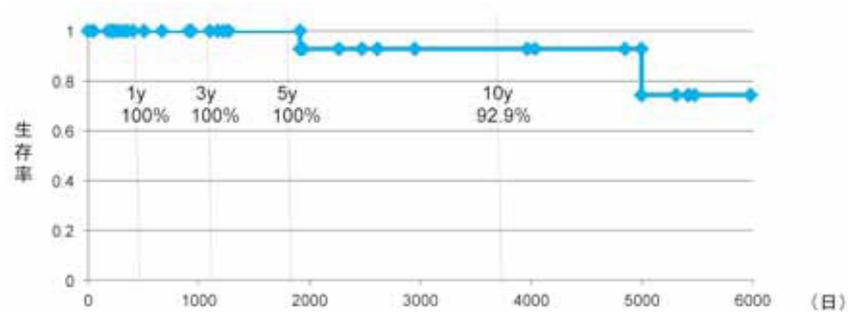
2010年4月より移植外科が標榜されて以来、移植外科医2人体制であったが、2012年5月に大塚聡樹医師（15年間勤務）が転勤し、移植外科医は1名となった。また、2012年10月からは東三河において唯一の腎移植認定施設となってしまった。このため献腎移植登録患者の施設変更に伴い、当院はその多数を受け入れ、献腎登録待機症例は倍増した。また、他病院で移植された腎移植患者や肝移植患者のフォローアップに関しても、当科外来での定期通院を受け入れており、東三河だけでなく全国の移植施設との間で病診連携がなされている。2013年の腎移植症例は生体腎移植8例であったが、生体腎移植目的の紹介患者は年々増加しており、今後、腎移植症例はさらに増えてゆくものと思われる。また、長期透析に伴う二次性副甲状腺機能亢進症に対する副甲状腺手術も年々増加しており、近隣透析施設との病診連携も密に行われている。

(部長 長坂 隆治)

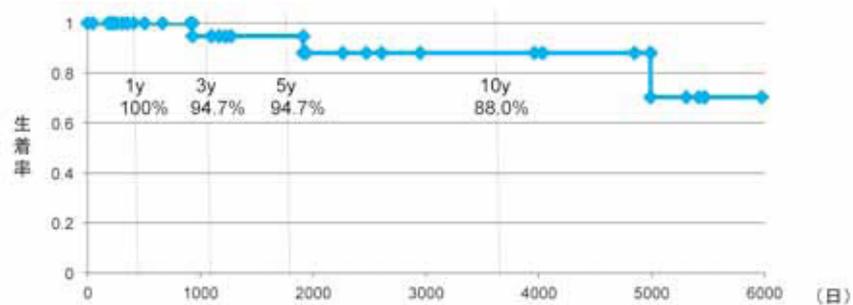
●外来患者の状況

	疾患名	件数(件)		疾患名	件数(件)
1	腎移植後	44	4	献腎移植登録外来	99
2	肝移植後	6	5	副甲状腺手術後	7
3	膵移植後	1		計	157

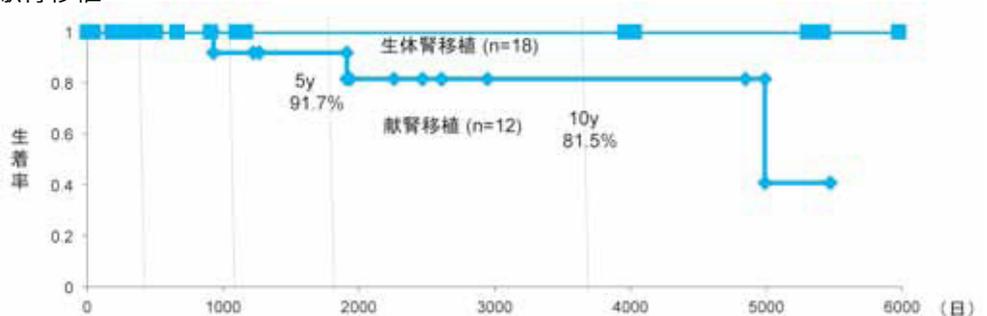
●生存率



●生着率



●生着率 生体腎移植vs献腎移植



学会発表（医局）

<移植外科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
①	当院におけるNBC災害訓練の取り組み -コアスタッフの育成-	菊池 直幸	第18回日本集団災害医学会	2013/1/17
②	生体腎移植後早期に胃GISTを合併 した一例	長坂 隆治	第46回日本臨床腎移植学会	2013/1/31
③	手術室における脳死下臓器提供シミュ レーションの成果	上村 恵子	第46回日本臨床腎移植学会	2013/1/31
④	完全行動型臓器提供シミュレーション 結果とICUでの今後の課題	森山 明美	第46回日本臨床腎移植学会	2013/2/1
⑤	当院における2012年のCTによる Autopsy imaging(Ai)施行症例に関す る検討とその意義について	神原 祐一	東三医学会	2013/3/5
⑥	3D-CT構築による術前バーチャル・ド ナー腎摘の有用性	長坂 隆治	第49回日本移植学会総会	2013/9/6
⑦	臓器移植者の動脈硬化の対処法-非薬 剤性因子について	大塚 聡樹	第49回日本移植学会総会	2013/9/6
⑧	クローンブタを用いたドナー細胞移入 (DST)による免疫調節の試み	稲永由紀子	第49回日本移植学会総会	2013/9/6
⑨	十二指腸穿孔を繰り返すMEN 1型に 対して臍島十二指腸切除術と同時に副 甲状腺摘出術を施行した1例	長坂 隆治	第46回日本甲状腺外科学会学術集 会	2013/9/26

研究会発表（医局）

<移植外科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
①	大腿骨頸部骨折の術後不全治癒により、副甲状腺全摘出術に踏み切った1例	長坂 隆治	第16回東海ROD研究会	2013/7/27
2	大腿骨頸部骨折術後の不全治癒を契機に副甲状腺全摘出術を施行した1例	長坂 隆治	第5回PT x 研究会学術集会	2013/9/28

座長・司会（医局）

<移植外科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	免疫抑制剤3（タクロリムス）	長坂 隆治	第46回日本臨床腎移植学会	2013/1/31

講演（医局）

<移植外科>

※丸数字は共同講演者を示す

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	年月日
1	腎移植と生活習慣病(高血圧、糖尿病、高脂血症)最近の考え方	長坂 隆治	第82回移植セミナー	2013/3/3
2	聴いてみたい腎移植のはなし	長坂 隆治	新城市腎友会・移植セミナー	2013/10/13

論文・著書（医局）

<移植外科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	題名	発表者及び 共同研究者	雑誌名
1	当院における2012年のCTによるAutopsy imaging (Ai) 施行症例に関する検討とその意義について	神原 祐一	東三医学会誌 第35号, 101-104頁, 2013年3月
2	アスペルギルス	長坂 隆治	腎移植感染症マニュアル 144-149頁